

移住者懇談会を開催 解除後の新村民は100人に



3密を避けゆったりと配置された席。自己紹介の後、なごやかな交流が続きました

8月29日、旧草野小学校で開催していた「モノは捕らえよう展」の会場で、移住者懇談会を開きました。平成29年の避難指示解除以降、村内に移住した新村民(転勤など短期の居住を除く)がちょうど100人となったばかりのタイミング。懇談会にも27人が参加しました。村は定住・交流人口の増加に取り組んでいますが、当初の目標を超える移住希望をいただいている状況です。菅野村長が歓迎のあいさつを述べ、出席者一人ひとりが移住のきっかけや、現在の暮らしなどを語りました。

グリーンスローモビリティ 実証の運行が始まりました

環境にやさしい電気自動車で、公共交通機関の先の“足の確保”を目指す「グリーンスローモビリティ」。その試験的な運行が、8月26日から9月20日まで、村内で初めて行われました。この運行は、環境省の実証事業で、実施主体は福島交通です。今回は、路線バスの発着時間に合わせて、道の駅、村役場、いいいてホーム、いちばん館の間を巡回しました。10月・11月にも別ルートで運行し、効果的な導入方法などが検討されます。次回以降の詳細は改めて周知が行われます。



出発式の出席者に見送られる始発の車両。利用者の感想や意見を集めています。ぜひお気軽にご乗車を

自然の音と融合するメロディ 守時タツミ コンサート



美しい映像と音楽に癒やされたひととき。定員を40人とし3密を防ぎながら開催しました

9月5日、交流センター「ふれ愛館」で、守時タツミさんのコンサートを開催しました。守時さんは、さまざまな土地で「音」を録音し、その音を生かして風景や思いを表現する「MOTTAINAISOUND(もったいないサウンド)」を演奏しています。心癒す音楽に、来場者が静かに耳を傾けました。守時さんは、避難中にも仮設住宅などを何度も訪問し、音楽を届けてくれました。村内での演奏も今回が3回目。終了直後から、次回を待望する声が聞かれました。

交流センター「ふれ愛館」で 憧れの「一閑張り」に挑戦！

8月20日・27日の2回にわたり、交流センター「ふれ愛館」で、生涯学習事業「一閑張り教室」を開催しました。講師は、佐藤美喜子さん(関根・松塚)。制作の順番やきれいに仕上げるコツをていねいに教えていただき、初めての方も、楽しく作業を進めることができました。初回は竹籠に和紙を貼り、1週間をかけて乾燥。2回目の教室で、柿渋を塗り、仕上げの作業を行いました。参加者の皆さんは、「どんな感じにしようかな」と話しながら、和気あいあいと作業。文化祭出品用の小さな作品も製作しました。



「やってみたかった」と言う初心者の方も、素敵な作品を完成。教室開催の継続を要望する声も

市町村対抗軟式野球大会 あと一步の惜敗



1回戦の対昭和村戦は不戦勝で勝ち上がり、2回戦を健闘。投打も好調で、来年の活躍が楽しみ

第14回市町村対抗福島県軟式野球大会に出場した飯館村チームの2回戦が、9月20日、小野あぶくま球場(小野町)で行われました。村チームは、白河市チームと対戦。互いに点を取り合う展開となり、3対2の1点リードで最終回を迎えますが、粘りを見せた白河市チームに2点を奪われ、逆転負けを喫しました。勝利まであとわずかの惜敗。選手の皆さんは来年のリベンジを誓っていました。



クリエイターの拠点づくり みんなで楽しみませんか

8月29日、旧草野小学校で、DIYイベントが開かれました。DIYとは「Do It Yourself」の頭文字。直訳すると「自分でやってみよう」で、自身で何かを製作・修繕することを指します。このイベントは、アーティストやクリエイターが集う拠点をつくり、地域おこし協力隊の松本奈々さん(深谷)が進める「Bound for IITATE」プロジェクトの一環。呼びかけに応じて集まった皆さんが、校内の廃材を活用し、シェアハウスで使う机を製作しました。イベントは月1回のペースで開催。出会いとモノづくりの楽しさが味わえます。



交流を楽しみながら2班で作業。基本のデザインに工夫を加えて、それぞれに素敵な机が完成しました

facebook→
当日の動画もあります

